

家読推進プロジェクトが選んだ

東日本大震災関連絵本

2021. 3. 11

- 【はしれ、上へ！ つなみてんでんこ】 文・指田 和 絵・伊藤秀男 ポプラ社 2013. 2 岩手県釜石市
東日本大震災地震直後、600人の子どもたちが山を走って津波から逃げた“釜石の奇跡”を絵本化。
- 【ハナミズキのみち】 文・浅沼ミキ子 絵・黒井 健 金の星社 2013. 5 岩手県陸前高田市
東日本大震災の津波で避難誘導をしていて波にのまれたわが子への祈りと希望へ導く感動の物語。
- 【はしれディーゼルきかんしゃデーデ】 すとうあさえ・文 鈴木まもる・絵 童心社 2013. 11. 30 福島県郡山市
東日本大震災直後、東北への輸送が断たれた。人々が待つ郡山へ燃料を運んだディーゼル機関車の実話
- 【かげのでんわ】 作・絵 いもとようこ 金の星社 2014. 2 岩手県大槌町
東日本大震災で大切な人を失った人たちの思いを天国につなぐ心の復興「風の電話ボックス」の物語。
- 【ほうれんそうはないています】 鎌田 實・文 長谷川義史・絵 ポプラ社 2014. 3 福島県
東日本大震災でおきた原発事故で、食べられなくなったほうれんそうの悲しい思いを伝える。
- 【希望の木】 新井 満・文 山本二三・絵 東京法令出版 2015. 5. 16 岩手県陸前高田市
高田松原で1本だけ生き延びた「奇跡の一本松」を擬人化して、その謎を探る物語絵本。DVD付
- 【なみだはあふれるままに】 内田麟太郎・文 神田瑞季・絵 PHP 研究所 2016. 3. 9 宮城県女川町
東日本大震災の津波で、おじいちゃんを亡くしたひとりの少女の心象風景を詩に託して描いた絵本。
- 【フクシマ～2011年3月11日から変わったくらし】 写真・文 内堀タケシ 国土社 2021. 2. 10 福島県
東日本大震災から10年。原発事故で人々の暮らしはどう変わったのか、福島の今を伝える写真絵本。
- 【リアスのうみべ さんてつがゆく】 宇部京子・作 さいとうゆきこ・絵 岩崎書店 2021. 2. 28 岩手県久慈市
東日本大震災で大被害を受けた“さんてつ”が、人々を励ますために5日後から動いた奇跡の物語。
- 【いぬとふるさと】 絵・文 鈴木邦弘 旬報社 2021. 3. 1 福島県双葉郡
あの日から10年。遠い町で一人ぼっちになった犬がある日故郷を目指し、福島原発被災各地をめぐる。

<お願い>

*東日本大震災を風化させないために、関連絵本を家族で読んで、特に子どもたちに語りつないでいきましょう。
公立図書館や学校、施設での「関連絵本常設展示コーナー」をつくりましょう。